

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	枚方市家庭教育支援チーム (呼称:ふる～る)
活動開始年度	平成 27 年度
活動拠点	枚方市立 香里ヶ丘図書館、ラポール枚方
活動範囲	枚方市内全域、京阪沿線 等
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>7</u> 人 親学習リーダー7人、教育カウンセラー1人、認定心理士1人 保育士3人、幼稚園教諭1人
具体的な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市教育委員会社会教育課主催 家庭教育学級(親学習)を担当。 (H27年度は前期9月4回、後期11月4回の合計8回) ・香里ヶ丘図書館にてふれあいルーム開設。 (第2・4金曜日、10時～12時半) ・大阪府教育委員会 地域教育振興課 主催の研修に参加。 ・OYA・REN に加入し、各市の講座を応援要員として担当し、各種研修にも参加。 ※OYA・RENとは…大阪府教育庁提言の親学習プログラムを実践している支援者の会。子供との関わりを通じて、大人自身が親としての気づきを得る参加体験型学習を開催し、地域のつながりや交流も促している。
活動を通して感じていること (成果、課題など)	枚方市民中心に地元で子育て世帯を支える活動を継続して行いたいと考える有志が集まりました。比較的落ち着いた住宅地が多く、ライフラインが充実した枚方市でも、高齢化、子育て世帯の孤立化を身近に感じます。ささやかな活動ではありますが、高齢者も子どもも安心して暮らせる町づくりを目指し、まずは場の設定から始めました。 子育て中の保護者対象の講座を開催すると、自分をふりかえる機会になった、リセットできた、悩んでいるのは自分だけじゃないと安心したとの感想をもらえるので、細く長く続けたいと考えています。
問合せ先	枚方市教育委員会 社会教育課 宮澤 tel:050-7105-8056 mail: shakaikyouiku@city.hirakata.osaka.jp